

福島第一原子力発電所構内の「野鳥の森」における危険物屋外貯蔵タンクからの変圧器絶縁油の漏えいについて

1. 危険物屋外貯蔵タンクの位置と漏えい箇所の外観

(1) 福島第一原子力発電所構内図



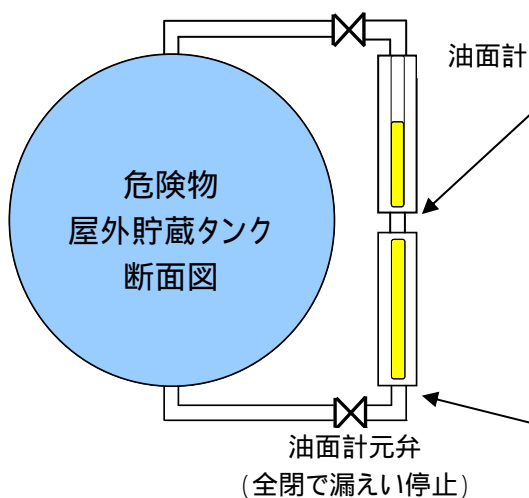
(2) 「野鳥の森」危険物屋外貯蔵タンクの外観



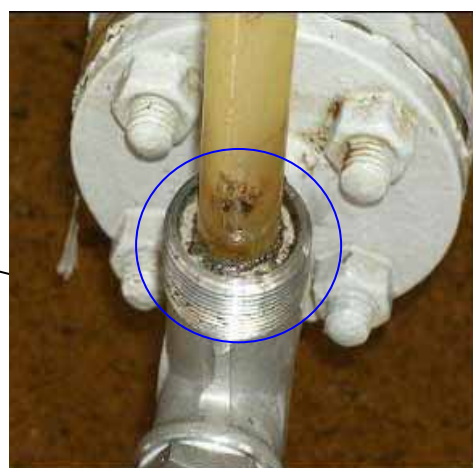
中央接続部漏えい箇所 (NO. 4タンク)



2. 漏えい箇所 (例)



油面計漏えい箇所 (NO. 3タンク)



3. 油の漏えい量と流出経路の推定

タンクからの漏えい量：約 40 kL

- ・震災以前のタンク内の貯蔵油レベルの記録と、現在の油のレベルの値から算出。

回収した油の量 合計 約 4 kL

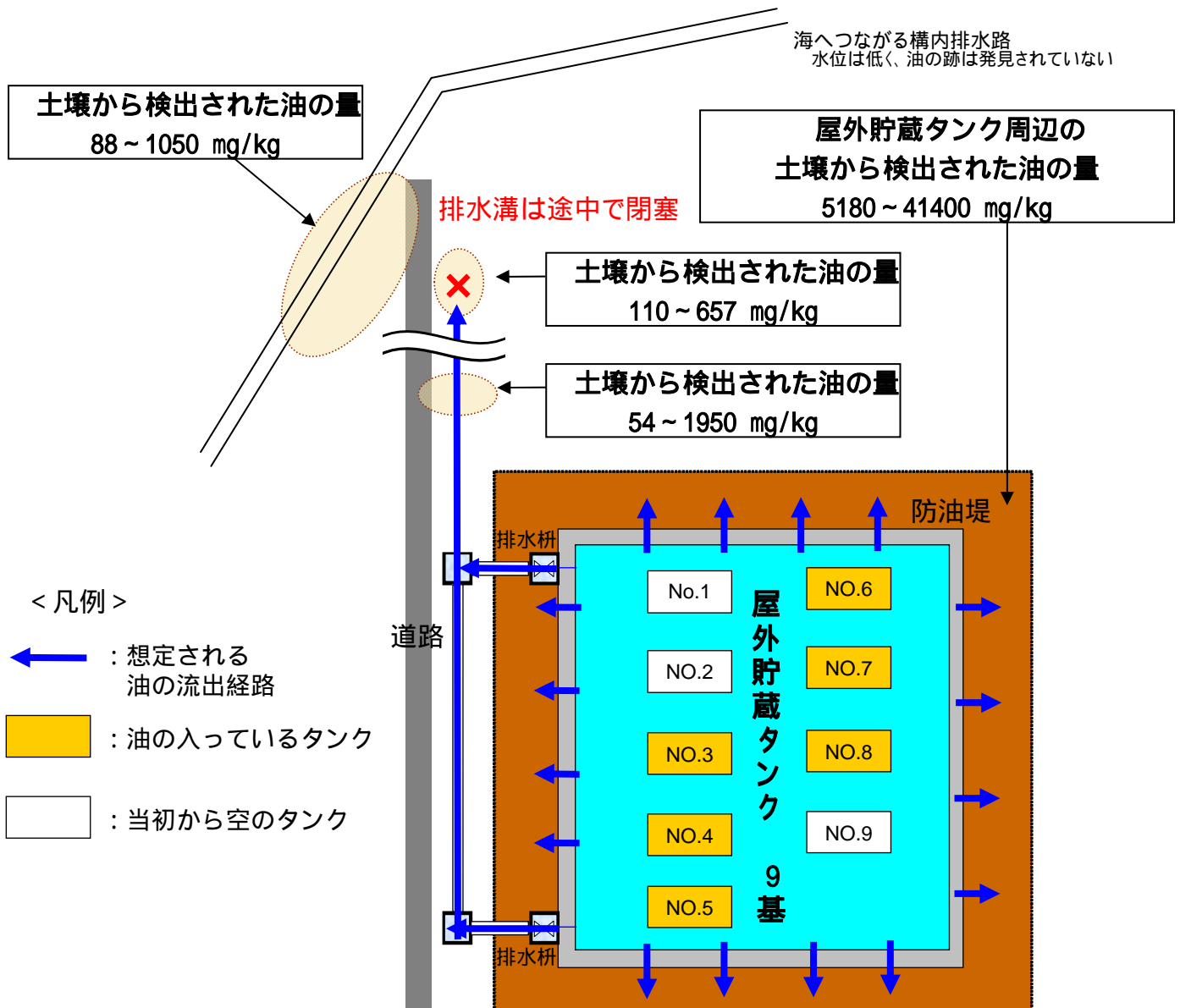
- ・油吸着マットから：約 2 kL
- ・防油堤内滞留分から：約 2 kL

防油堤外への流出先（想定）

- ・防油堤周辺の土壌へ
- ・排水枡から排水溝へ

防油堤外への漏えい量：最大 約 36 kL（油に含まれるPCBの含有率：0.5ppm）

海へつながる排水溝の先が閉塞していることと、排水路近辺の土壌サンプリングの結果から、海洋へは流出していないと推定



：5180 ~ 41400mg/kgは、BG*値と比較して、高い値のため、当該地点へは油が漏えいしていることが分かる。

：54 ~ 1950mg/kgは、BG*値と比較して、大部分は同等もしくは低い値であるが、一部に比較的高い値(1950mg/kg)が確認されたことから、漏えいした油が到達した可能性が考えられる。

：88 ~ 1050mg/kgは、BG*値と比較して、同等もしくは低い値のため、当該地点へは油が到達していないと考えられる。

*BG: 周辺環境の自然レベル(バックグラウンド)の値 (432 ~ 1020mg/kg)